

## 令和6年度業務実績に関する評価（案）の概要

## 1 決算状況（税込）

（単位：百万円）

区 分	R 5 年度（実績） A	R 6 年度（実績） B	B - A
経常収益	51,455	53,658	2,203
医業収益	42,776	44,752	1,976
経常費用	52,985	55,629	2,644
医業費用	52,002	54,607	2,605
経常収支	▲1,530	▲1,971	▲441
経常収支比率	97.1%	96.5%	▲0.6
当期純損益	▲1,427	▲2,110	▲683

## 2 業務実績全体にかかる総合的な評定（要旨）

医 療 面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県立病院としての使命を引き続き担い、ロボット支援手術件数の増加、こども病院でのリハビリテーション活動の充実など、医療の質の更なる向上とそのための体制づくりへの努力が引き続き認められる</li><li>・ また、県内医療機関への医師派遣による県内の医療提供体制の確保や、基礎研究成果の発信による県内医療水準の向上に貢献している</li></ul>
経 営 面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入院・外来患者数や手術件数等においては新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に伴い収益が増加したが、一方で物価高騰や人件費の影響により経費が増大し、経常収支においては赤字決算が続いていることから、経営改善ワーキング・グループ等による検討を踏まえ、業務運営の改善・効率化を一層進める取組が期待される</li></ul>
総 合 的 評 定	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 物価高騰等の社会的な影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症から徐々に回復し、医療面・経営面の双方で、中期目標の達成に向けての努力と着実な進展がみられる</li></ul>

### 3 機構の業務実績・自己評価

#### (1) 機構自己評価（機構が行動計画として設定した全 118 項目に対する評価）

区 分	R5 本	R6 暫定	R6 本	暫定評価からの変更項目
S：計画に対し十分に取り組み、 顕著な成果が得られている	9	6	6	<A→B> 【10】 紹介率・逆紹介率（心） 【27】 先端医学棟ハイブリット手術室等の運用（総） 【40】 病床稼働率（総） 【41】 入院・外来患者数（心）
A：計画に対し十分に取り組み、 成果が得られている	95	105	104	
B：計画に対し十分に取り組んでいる	14	4	7	
C：計画に対する取組は十分ではない	1	1	1	<未→A> 【8】 患者満足度 【107】 業務改善運動件数
未評価（データ集計中）	—	2	—	
計	119	118	118	

#### (2) 令和 6 年度数値目標の達成状況（機構が中期計画・令和 6 年度計画において指標設定）

区 分	R5 本	R6 暫定	R6 本	備 考
目標達成	13	20	15	<未評価→達成> 【8】 患者満足度 【107】 業務改善運動推進制度実績件数 <未達成→達成> 【95】 公開講座の実施回数
目標未達成	13	5	12	<達成見込 →未達成> 【10】 紹介率・逆紹介率（心） 【26】 入院・外来患者数（総） 【27】 手術件数（総） 【32】 放射線治療症例件数（総） 【40】 病床稼働率（総） 【41】 入院患者数（心） 【54】 小児がん登録件数（心）
未評価（データ集計中）	0	2	0	
計	26	27	27	

### 4 県評価（全 118 項目のうち、県が数値目標項目など 54 項目を「重点項目」として設定）

区 分	R5 本	R6 暫定	R6 本	暫定評価からの変更項目
☆：良好で特に着目する状況	6	6	4	<☆→○> 【33】 外来化学療法の充実（総） 【71】 働き方改革
○：良好な状況	56	40	42	
△：より一層の取組を期待	4	5	7	<○→△> 【10】 紹介率・逆紹介率（心） 【27】 手術件数・HCU 延件数（総） 【41】 入院・外来患者数（心）
▼：取組改善を強く要望	0	1	1	
未評価	0	2	0	<△→○> 【95】 公開講座の実施回数 <未→○> 【8】 患者満足度調査 【107】 業務改善運動推進制度実績件数
計	69	54	54	

参考：重点項目の選定方針

(1) 中期目標・中期計画・年度計画で数値目標を設定した指標が含まれる項目

(2) 第 4 期中期目標で新たに記載した内容が含まれる項目

(3) 中期目標・中期計画に基づき、項目を内容別に分類（35 分類）し、各分類から 1 項目以上選定

※なお、(3)により設定する項目は毎年度見直しを行う

## 5 実施状況の調査・分析

### (1) 項目別要旨

県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項	医療の提供	ロボット支援手術件数の増加や、こども病院でのリハビリテーション活動の充実など、 <b>医療の質の更なる向上が図られている</b>
	医療従事者の確保及び質の向上	総合病院のメディカルスキルアップセンターにおいて現場に即した実践的な研修が提供されているほか、各病院における院内施設の充実や、総合病院での医師の働き方改革の推進など、 <b>就労環境の向上に取り組んでいる</b>
	医療に関する調査及び研究	総合病院のリサーチサポートセンターにおける研究など、意欲ある医師への研究や学术交流の機会の提供により、 <b>本県医療水準の向上に寄与している</b>
	医療に関する地域への支援	県内医療機関への医師派遣等により地域医療提供体制維持に貢献したほか、地域の医療従事者の養成や県立病院としての社会的役割に応じた取組が行われており、高度・専門医療の技術や知見が積極的に <b>地域に共有・還元されている</b>
	災害等における医療救護	令和6年能登半島地震におけるDMA T・DPAT等の被災地域への派遣や、継続的な防災訓練の取組により <b>災害対応の基幹的役割を果たしている</b>
業務運営の改善及び効率化に関する事項		薬品・診療材料の適正な調達・在庫管理や業務改善運動の推進等、 <b>業務運営の効率化に継続して取り組んでいる</b>
財務内容の改善に関する事項		経常収支において、約19.7億円の赤字となり、前年度に続いて <b>経常収支比率100%を下回った</b>

### (2) 項目別業務実績評価抜粋※下線部は暫定評価からの修正・追加事項

#### ア 県評価のうち☆の項目

No.	内 容	県評価	県評価												
		機構評価													
19	リハビリテーション活動の充実（こども）	☆	<ul style="list-style-type: none"><li>・<u>リハビリ実施件数は、理学療法、作業療法、言語聴覚療法のいずれも高水準を維持し、3療法の合計件数は前年度に引き続き過去最大を更新</u></li><li>・<u>目標を設定している理学療法件数も、理学療法士を2名増員したことで、過去最大を更新</u></li><li>・<u>P I C U（小児集中治療室）における早期離床・リハビリテーション加算は、ほぼ全例で算定可能となっており、患者の早期回復に加え、病院収益にも寄与</u></li></ul>												
		S	<table><tr><td>区 分</td><td>R5 実績</td><td><u>R6 実績</u></td><td>R6 目標値</td></tr><tr><td>理 学 療 法</td><td>26,886 件</td><td><u>34,097 件</u></td><td>20,000 件以上</td></tr><tr><td>リハビリ全体</td><td>48,551 件</td><td><u>55,716 件</u></td><td>－</td></tr></table>	区 分	R5 実績	<u>R6 実績</u>	R6 目標値	理 学 療 法	26,886 件	<u>34,097 件</u>	20,000 件以上	リハビリ全体	48,551 件	<u>55,716 件</u>	－
			区 分	R5 実績	<u>R6 実績</u>	R6 目標値									
			理 学 療 法	26,886 件	<u>34,097 件</u>	20,000 件以上									
			リハビリ全体	48,551 件	<u>55,716 件</u>	－									
36	ロボット支援手術（総合）	☆	<ul style="list-style-type: none"><li>・<u>ロボット支援手術件数が過去最大の件数</u></li></ul>												
		S	<table><tr><td>区 分</td><td>R5 実績</td><td><u>R6 実績</u></td><td>R6 目標値</td></tr><tr><td>件 数</td><td>407 件</td><td><u>469 件</u></td><td>340 件以上</td></tr></table>	区 分	R5 実績	<u>R6 実績</u>	R6 目標値	件 数	407 件	<u>469 件</u>	340 件以上				
			区 分	R5 実績	<u>R6 実績</u>	R6 目標値									
件 数	407 件	<u>469 件</u>	340 件以上												

No.	内 容	県評価 機構評価	県評価
76	研究支援体制の充実 (総合)	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研究数のR 6 年度実績は 474 件と過去最大数</li> <li>・きこえとことばのセンターにおいて、聴覚支援に先進的であるオーストラリアの機関と連携し、難聴児の療育プログラムの確立のためのパイロットセンター立ち上げに向け、海外機関が作成する研修の受講等の調整を進めている</li> <li>・今後の更なる県民への成果還元を期待</li> </ul>
		S	
112	診療報酬における施設 基準取得	☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 6 年度診療報酬改定に迅速に対応し、新たな施設基準の取得に積極的に取り組むことで収益を確保</li> </ul>
		S	

#### イ 県評価のうち△の項目

No.	内 容	県評価	県評価										
		機構評価											
10	紹介率・逆紹介率（心）	△	・ <u>こころの医療センターの紹介率は目標値を上回ったが、逆紹介率は目標値未達成</u>										
			・ <u>こころの医療センターでは、他の医療機関では対応が困難な患者を受け入れており、継続して治療を行う患者が多く、逆紹介率が伸びにくい</u>										
		B	・ <u>引き続き精神科患者の地域移行に努め、高度精神科医療を担う県立病院としての役割を果たすことに期待</u>										
			<table><tr><td>区 分</td><td>R5 実績</td><td>R6 実績</td><td>R6 目標値</td></tr><tr><td>紹 介 率</td><td>54.8%</td><td>55.1%</td><td>50%以上</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>27.0%</td><td>27.0%</td><td>30%以上</td></tr></table>	区 分	R5 実績	R6 実績	R6 目標値	紹 介 率	54.8%	55.1%	50%以上	逆紹介率	27.0%
区 分	R5 実績		R6 実績	R6 目標値									
紹 介 率	54.8%	55.1%	50%以上										
逆紹介率	27.0%	27.0%	30%以上										
27	手術件数（総合）	△	・ <u>手術件数及びHCU延患者数は、コロナ禍からの回復が見られるが、手術件数は目標値未達成</u>										
			・ <u>今後も効率的な運用に努め、先端医学棟の活用することを期待</u>										
		B	<table><tr><td>区 分</td><td>R5 実績</td><td>R6 実績</td><td>R6 目標値</td></tr><tr><td>手術件数</td><td>9,459 件</td><td>9,528 件</td><td>9,600 件以上</td></tr></table>	区 分	R5 実績	R6 実績	R6 目標値	手術件数	9,459 件	9,528 件	9,600 件以上		
			区 分	R5 実績	R6 実績	R6 目標値							
手術件数	9,459 件		9,528 件	9,600 件以上									

No.	内 容	県評価	県評価				
		機構評価					
40	病床稼働率（総合）	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合病院の病床稼働率は中期目標で示した目標値未達成</li> <li>一方で、前年度実績を上回っており、引き続き今後の取組に期待</li> </ul>				
			病 院	R5 実績	R6 実績	R6 目標値	県評価
		B	総 合	85.4% (86.4%)	88.2% (87.8%)	90%以上	△
			参 考	こころ 84.0% (83.5%)	86.9% (87.7%)	85%以上	○
			こども	75.9% (73.0%)	77.3% (76.3%)	75%以上	○
※（ ）内は暫定評価時の実績							
41	入院患者数（心）	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者数は前年度より増加し、コロナ前の患者数と同程度となったが目標値未達成</li> <li>前年度からは増加しているため、引き続き県内精神医療の中核病院の役割を果たすことを期待</li> </ul>				
			区 分	R5 実績	R6 実績	R6 目標値	
		B	入院患者数	52,898 人	54,525 人	56,502 人	
42	精神科救急（心）	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外における救急診療件数は目標値未達成だが、「精神科救急ダイヤル」を含め 24 時間 365 日対応可能な相談・診療体制が取られている</li> <li>件数については、必要に応じて要因を分析するなど、適切な診療体制の維持を期待</li> </ul>				
			区 分	R5 実績	R6 実績	R6 目標値	
		B	件 数	249 件	221 件	250 件以上	
44	高度専門医療（心）	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>m－E C T（修正型電気けいれん療法）実施件数は、目標値未達成</li> <li>一方で、薬物療法への移行が進んでおり、先端薬物療法の患者数(NO. 45)が増加するなど、他の医療機関では対応困難な高度治療は継続して提供できていると考えられ、設定する目標値について再検討することを提案</li> </ul>				
			区 分	R5 実績	R6 実績	R6 目標値	
		B	件 数	715 件	427 件	700 件以上	
61	医療従事者数	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師及び医師（正規職員数）の機構合計人数が、機構で設定した目標値未達成</li> <li>正規職員の不足については、有期職員の採用により対応</li> <li>働き方改革等の影響を注視しつつ、機構内での配置見直しを含め、安全で質の高い医療提供の根幹である医療従事者の適正数確保を期待</li> </ul>				
			区 分	R5 実績	R6 実績	R6 目標値	
		B	看護師(正規)	1,294 人	1,272 人	1,300 人以上	

# ウ 県評価のうち▼の項目

No.	内 容	県評価	県評価												
		機構評価													
118	経常収支の状況及び 修正医業収支の状況	▼	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 3 病院で入院・外来患者数が対前年度比増となったこと に伴い収益が増加した一方で、物価高騰や働き方改革に 伴う人件費増加の影響により、収益以上に費用が増加</li><li>・ 県立病院として持続可能な運営を行っていくためにも、 高度・専門医療の提供と財政の健全化の両立に向けて、 令和 7 年 4 月に各病院に設置した経営改善ワーキン グ・グループ等において、各病院における課題を分析・ 検討の上、収益確保及び費用削減、業務運営の改善・効 率化を一層進める取組が必要</li></ul>												
		C	<table><tr><th>区 分</th><th>R5 実績</th><th>R6 実績</th><th>目標値</th></tr><tr><td>経 常 収 支 比 率</td><td>97.1%</td><td>96.5%</td><td>5 年間累計 100%以上</td></tr><tr><td>修正医療収支比率</td><td>82.2%</td><td>82.0%</td><td>5 年間累計 100%以上</td></tr></table>	区 分	R5 実績	R6 実績	目標値	経 常 収 支 比 率	97.1%	96.5%	5 年間累計 100%以上	修正医療収支比率	82.2%	82.0%	5 年間累計 100%以上
			区 分	R5 実績	R6 実績	目標値									
経 常 収 支 比 率	97.1%	96.5%	5 年間累計 100%以上												
修正医療収支比率	82.2%	82.0%	5 年間累計 100%以上												

# エ 機構評価Sに対して県評価を○とした項目

No.	内 容	県評価	県評価				
		機構評価					
33	外来化学療法の充実 (総合)	○	・令和2年度にリニューアルした外来化学療法センターの適正な稼働、前日採血の実施、副作用である脱毛を抑制するPAXMANの運用等、高度医療の提供体制が維持されている				
			・外来化学療法加算取得件数は、目標 12,000 件を達成したものの、過去と比較し「特に着目すべき」とする程度には至らなかったことから、県評価は○とする				
		S	区 分	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績
			件数(件)	12,812	13,634	13,385	12,481
71	働き方改革	○	・医師をはじめとする医療従事者の働き方改革について、病院全体で積極的に取組を推進（チーム制・複数主治医制、看護師による特定行為等のタスクシフトの推進等）				
			・一方で、医師の1人当たり時間外勤務は前年度実績と比較し、3病院とも増加しており、評価項目として数値目標が設定されていないものの「特に着目すべき」成果とするには至らなかったことから、県評価は○とする				
		S	区 分		R5 実績	R6 実績	R6-R5
			医 師	総 合	720	738	+18
1人当たり 時間外勤務 (時間/人・年)	こころ		298	322	+24		
			こども	351	476	+125	